

行政視察報告

詳細につきましては、
市議会ウェブサイトをご
覧ください。



産業建設常任委員会 1月29日～31日

《熊本県菊池市》

「菊池温泉を活用した観光振興策・農業との連携策」及び「地元農産物と6次産業化の推進」について視察してまいりました。

外部団体からの専門家派遣による温泉街の経営基盤の強化、温泉街・地元飲食店・農業が連携した食を通じた魅力の発信といった地域資源を一体的に活用する取組は参考とすべき点であると感じたところであります。

また、ブランド推進室を設け、地元農産物を使い多くのブランド商品を生み出している点や、一般的な基準にプラスして、市独自の安心・安全基準を設定することにより、農林畜産物の更なるブランド化・高付加価値化を図る点等大いに参考となったところであり、当市の特性にあった取組を検証し取り入れていく必要があると感じたところであります。

《熊本県八代市》

「八代観光DMO」について視察してまいりました。

DMOの自主財源確保は重要な課題であるため、地域資源、地元企業等との協力体制構築による事業の推進等は参考とすべき点であり、八代市同様に、最終的には地元経済への波及が目的であることを意識して取り組むことが必要と感じたところであります。

《鹿児島県霧島市》

「リノベーションまちづくり」について視察してまいりました。

遊休不動産の増加やコミュニティの衰退等の課題を抱えているため、まずは人が出会う機会や仕組みを構築すること、行政と民間が適切に役割分担をしながら、まちのにぎわいを生み出し、課題解決につなげていく取組について参考とすべき点があると感じたところであります。



視察の様子(八代市)

文教福祉常任委員会 1月28日～30日

《福岡県福岡市》

「教育現場におけるICTの活用」について視察してまいりました。

市独自の教育動画用プラットフォームの運用やデジタル採点システムの導入など、最新技術の活用により生徒の成長と教職員の負担軽減が図られていました。

また、学校や教員のICT活用格差解消のためのサポート体制が充実しており、当市においてもICT化を進めるうえで、参考とすべき点であると感じました。

《佐賀県武雄市》

「ICTを活用した教育」について視察してまいりました。

平成22年度から、全国に先駆け教育現場にタブレット端末を導入し、動画による家庭での予習学習など、独自の取り組みを実施しています。近年では「個別最適な学び」や「協働の学び」を重視する中で、ICTが効果的に活用されており、当市においても参考とすべき点が多いと感じました。

《長崎県佐世保市》

「スマートスクールSASEBO構想」について視察してまいりました。

本来縦割りの組織が、部署の垣根を越えて連携することにより、様々なICT関連の施策が円滑かつスピード感をもって展開されていました。

また、同市の取組から、ICTが地域間の教育格差解消に非常に有効な手段であることを実感し、中山間地域や過疎地域が多い当市においても、大いに参考になるものと感じました。



視察の様子(福岡市)